



自ら気づき行動できました

～宿泊体験学習～

9月3日(木)、4日(金)、4・5年生が、香々地青少年の家で宿泊体験学習を行いました。本校の養護教諭が産前休暇前ということもあり、子どもたちの健康安全面を考慮し、同じ日に参加する大内小の4・5年生と合同で活動を行うことにしました。

8時40分、バスに乗り、学校を出発。10時前に現地に到着しました。

最初の活動は、大内小の子どもたちとの顔合わせの会です。自己紹介のゲーム等を行う中、初めて会った友達と少しずつ仲よくなり、名前を覚えた子どもも見受けられます。

昼食後は、海での活動でした。当初14時から開始予定でしたが、雨の影響で、開始時刻を30分下げて、安全を考慮しサップを取りやめ、海水浴のみを行いました。“海に入れないかな・・・”と心配していた子どもたちも、海水浴を行えることがわかり、表情も和らぎました。

海では、浮いたり潜ったり、そして、午前の顔合わせで仲よくなった大内小の友達と一緒ににおにごっこをしたりと、学校では味わえない海での遊びを大いに楽しむ姿がありました。

夕食後、時間に余裕ができ、体育館をお借りして本校のみでバレーボールをしました。子ども9人が4人と5人に分かれ、教職員も2人と1人で6人対6人での対戦です。子どもたちは体育でバレーボールを学習しているので、私は子どもたちにルールを教えてもらいながら参加しました。



打ったボールが相手コートにうまく落ちたら、チームみんなで喜び合います。また、打ったボールがコートの外に出してしまったら、うまく返球できなかったりしても、みんな笑顔で受け止め、誰もがバレーボールを楽しんでいます。子どもたちのやさしさや仲のよさが随所に見られ、和気あいあいと楽しむことができました。

翌日の活動は、勾玉づくりでした。自分が作ってみたい形を決め、まずは、それぞれ手持ちの糸鋸を使って慎重に石を削っていき、大方削れたら、次はやすりで形を整えていきます。

一人の子が、“しずくの形”を作ろうと、糸鋸で石を削っています。ところが、思うような形に削っていくことができず、「うまく削れない。形が変になっている・・・」と、表情が暗くなっています。

その時、周りにいた本校の子どもたちが、削られた石を覗き込み、「うまいやん!」「味があっていいよ!」と、感想を伝えました。落ち込んでいた子は、自分では失敗だと

思っていた石の形を友達に認めてもらう言葉で、暗い表情から嬉しそうな表情へと変わっていきました。そして、友達の言葉を励みに、世界に一つしかない素敵な勾玉を作り上げたのです。

物事を捉えるとき、自分の考えに固執してしまいがちになります。しかし、何事にも多様な考えや見方があります。他の違った視点や見方に出あうことで、視野が広がり、自身が気づかせられることも多いものです。友達のよさを実感できる一コマでもあります。

ところで、我々引率者は、子どもたちの“自ら気づき考え行動する”力を伸ばそうと、今年度も昨年度に引き続き、食事の準備や片付け等、生活に関わることについては係を決めず、気づいた人が気づいた仕事を行えるように、子どもたちに全てを任せて見守っていました。

食事の時間、昨年度この宿泊学習に参加した5年生が経験を生かし、4年生をリードしながら、みんなで協力し、準備・片付けを行っています。手を休める子どもは誰一人いません。あっという間に終えてしまいました。



当番の割り振りや座席の位置、食べる合図など、教師の指示を待って子どもが動くのではなく、自分たちでテキパキ動き、周囲の様子を見てタイミングをはかり、「いただきます」と食事に臨んでいます。

その時の様子を振り返り、後に次のような感想を書いた子どもがいます。

ごはんのときとかは、〇〇担当とか決めていないけど、自ら気づいて行動して、「私、お茶つくね」とか「それ配るけん」と、みんなで協力しながら支え合えたと思います。それを、“当たり前”のようにできているのがすごいなと自分でも感じました。

教師から一つ一つ指示されなくても、このように子どもたちは立派に考え、よりよい判断をしていく力を十分兼ね備えているのです。

その力を信じて、さらに伸ばしていけるよう、私たちは、子どもに任せる姿勢・待つ姿勢を大事にしていかなければならないことを、帰校後に改めて全職員で共有した次第です。

この2日間の宿泊学習を通し、「気づき行動する力」がより磨かれ、一段とたくましくなりました。

ありがとうございました

北杵築地区社会福祉協議会から、熱中症対策にと、子どもたち一人一人に、冷感タオルをいただきました。

9月後半から、運動会練習もスタートしました。ぜひ使用させていただきます。

8月28日(金)放課後には、保護者・警察・少年補導員の方、職員が、校舎前に立ち、子どもたちの下校の見守り活動を行ってくださいました。お互いに「さようなら」とあいさつを交わし、元気に下校する子どもたちの姿がありました。

見守りに参加していただいた皆様、大変ありがとうございました。